



岡田 浩氏 (京都大学SPH薬局情報グループ) に聞く

住民に正しい情報の提供を

薬局薬剤師が果たす役割とは

新型コロナウイルスの感染拡大は、今もなお続いている。感染拡大を受けて多くの薬局薬剤師が、時には対応に苦慮しながら、住民への適切な情報提供、地域の感染防止やワクチン接種の推進などに取り組んでいる。こうした取り組みを通じて薬局の役割を改めて見つめ直した薬剤師も少なくないのではないだろうか。感染拡大早期からの積極的な情報発信で薬局薬剤師を支援してきた京都大学SPH薬局情報グループの岡田浩氏(同健康情報学特定講師)に、薬局薬剤師の役割や目指すべき方向性、世界の動向を聞いた。

—どのような情報を発信してきたのか。

薬局薬剤師の行動を支援するために昨年4月にウェブサイトを立ち上げ、必要な情報を短時間で得られるようにリンク集を設けたり、独自の資料や動画を作成したりした。

具体的には、薬局での防疫対策チェックリストや、感染対策やマスクの使い方などを住民に啓発する様々なポスターを作成した。医師に感染対策や臨床症状を聞いた動画や、各薬局での対策を薬剤師に聞いた動画などを配信した。

—海外ではワクチンの注射まで行えるなど、国内外の薬剤師が担う業務範囲の違いも注目された。

薬剤師の権限は、各国の歴史や社会構造、制度など様々な要因が関係して形成されるため、海外で認められているから日本でも今すぐ実施できるというのはいさぐさな話だと考えている。

海外の薬局も方向性は同じ

共通する慢性疾患の増加

薬剤師向け新型コロナウイルス感染症ガイドラインの改訂版を、許可を得て日本語に翻訳し、ウェブサイトに掲載した。

—なぜ、情報発信に踏み切ったのか。

薬局薬剤師として働いていた自身の経験を振り返ってみても、薬局で患者や住民から相談を受けることは多い。洪水のように様々な情報が溢れる中で、正しい情報を選択し伝えることが薬局の重要な役割だ。

たが、薬局薬剤師の役割は日本も海外も大きく変わらない。直ちに医師の診察を受けるほどではないグレーゾーンの相談に応じたり、病気を抱えながら生きる人を支えたりする役割は、世界中どここの薬局でも同じだ。

—海外の薬局薬剤師はどのような方向性を目標としているのか。

薬局薬剤師の経験をもとにCOMPASS研究を実施し、薬剤師の患者への声かけには糖尿病患者の血糖コントロールを改善する力があることを示したが、その研究を実施する直前、2010年

は、正しい情報を発信する役割があると思う。情報発信への反響は、

現在、当初の役割を終えたとして情報の更新をほぼ休止しているが、このような情報発信は多くの薬剤師に影響を与えていることを示すことができる。今後は組織力のある機関が薬剤師の支援活動を続けてほしい。オンライン研修や現場で使える資料の提供が有効だと思う。

—薬剤師の活躍に向けて今後、日本はどう進めるのが現実的なのか。

医師との関係で言えば、病に苦しむ患者を助けるという目的を同じにする医師と薬剤師が診療報酬の支払いを合意する必要がある。医師の収入を削るような制度改革は根柢を残し上手く行かないだろう。幸いにも今の30代以下の医師には、研修先の病院等で助け合う仲間として薬剤師と関わった経験があり、薬剤師の仕事に理解がある。将来的な医師との関係には希望を持っている。ただ、薬剤師側に独立した専門職として受けて立つ覚悟も必要になるだろう。

第54回日本薬剤師会学術大会

(順不同)

公益社団法人 福岡県薬剤師会

会長 原 亨

〒812-0018 福岡市博多区住吉二丁目二〇一五
電話 〇九二(二七一) 三七九一

公益社団法人 東京都薬剤師会

会長 永田 泰造

〒101-0054 千代田区神田錦町一丁目二一
電話 〇三(三二二九四) 〇二七一

一般社団法人 大阪府薬剤師会

会長 乾 英夫

〒540-0019 大阪府中央区和泉町一丁目三三八
電話 〇六(六九四七) 五四八一

九州山口薬剤師会

会長 宮崎 俊

福岡県薬剤師会 会長 原 亨
佐賀県薬剤師会 会長 佛坂 浩
長崎県薬剤師会 会長 田代 浩幸
熊本県薬剤師会 会長 富永 孝治
大分県薬剤師会 会長 安東 哲也
宮崎県薬剤師会 会長 小山 明俊
鹿児島県薬剤師会 会長 上野 泰弘
沖縄県薬剤師会 会長 前濱 朋子
山口県薬剤師会 会長 吉田 力久



一般社団法人 日本病院薬剤師会

会長 木 平 健治
〒150-0002 東京都渋谷区渋谷二丁目二一五(長井記念館)
電話 〇三(三四〇六) 〇四八五
FAX 〇三(三七九七) 五三〇三番



一般社団法人 日本女性薬剤師会

代表理事 近藤 由利子
〒130-0012 墨田区太平三丁目一
電話 〇三(三六二一) 〇四八九



Pharmaceutical and Medical Device Regulatory Science Society of Japan
財団法人 医薬品医療機器レギュトリーサイエンス財団
会長 奥田 晴宏
〒150-0002 東京都渋谷区渋谷二丁目二一五(長井記念館)
電話 〇三(三四〇〇) 五三三四
FAX 〇三(三四〇〇) 三一五八番